

保育おおさか

No. 454

平成 25 年 6 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

<http://www.ans.co.jp/u/osakahoiku/>

春の叙勲

瑞宝双光章

皆様に
見守られて

坂本 道子

山直南保育園長



子どもたちに心奪われてからなっ
て46年。歴代の先生方、保護者の
方々、地域社会に見守られて今を迎
えることができました。両親からい
ただいた丈夫な身体、そして何より
も伴侶の大きな協力があればこそで
す。

平成25年度 近畿ブロック 保育研究集会 ご案内

平成25年度近畿ブロック保育研
究集会が7月11日(木)～12日
(金)、ウェスティン都ホテル京都で
開催されます(主催:近畿ブロック
保育協議会・京都府保育協会)。

申し込みの締切は6月14日(金)
までですので、申し込みを済まされ
ていない方はぜひお申し込みくださ
い。開催要綱についてはすでに各園
に配布済みです。参加申し込みにつ
きましてはトップツアー(株)京都
支店にお申し込みください。

待機児童の解消・制度の狭間のニーズに 応えることが社会福祉法人の役割

今期も引き

続き、部会長
に任命されま
したので、ご
挨拶申し上げ
ます。



永野 治男

「子ども・子育て関連3法」にもと
づき、4月から国の「子ども・子育
て会議」がスタートしました。努力
義務ですが各自自治体にも「地方版子
ども・子育て会議」が設置され、地
域のニーズにあわせた「子ども・子
育て支援事業計画」が策定されます。
また、「待機児童解消加速化プラ
ン」が発表され、保育所の緊急整備
を含めた待機児童解消が図られよう

としています。

このような情勢の中、保育部会は
各自自治体において重要な役割をもつ
「地方版子ども・子育て会議」につい
て設置及び保育関係者の参画につい
て積極的に働きかけ、各地域の保育
関係者からの提言や取り組みが行わ
れるよう、情報提供を行ってまいり
ます。

さらに、「待機児童解消加速化プラ
ン」とともに今後さまざまな運営主
体の参入が予測されますが、私たち
社会福祉法人などが運営する保育園
として、存在意義を積極的に発揮す
ることが大切です。子どもの保育の
質を向上させながら、待機児童解消

や地域貢献事業を展開し、制度の狭
間のニーズに添えていく必要があり
ます。現在、部会で取り組んでいる
地域貢献事業をさらに発展させると
ともに、全種別部会が参画する生活
困窮者などに対する総合生活相談事
業である「オール大阪の社会貢献事
業」の検討を進めてまいります。

また、昨年度から取り組んでおり
ます保育人材確保事業については、
今年度は保育部会全会員保育園を対
象として、養成校との研究懇談会を
8月初旬に実施する予定です。養成
校との連携を密にしながら、全国的
にも課題となっている保育士人材確
保と、より良い保育士の養成に努め
てまいります。

部会の皆様のご支援をいただきな
がら頑張つてまいりますので、ご協
力をよろしくお願い申し上げます。

保育部会 部会長 永野 治男



生活習慣病の
予防には、日々
トレーニングを
し、食生活を見
直し、身体を改
善していくこと
が有効といわれ
ています。しかし多くのの方は、
加齢とともに、運動する機会が
減っていきます。動かなくなれ
ば、筋肉も衰えて小さくなりま
す。安静時にも行われているエ
ネルギー消費、基礎代謝が下が
ります。その結果、疲れやすく、
太りやすくなります。

皆さんも存じのように、今
や空前の運動ブームです。体幹
トレーニング、ヨガ、ピラティ
スなど、次から次に新種の運動
が登場しています。なかでも、
トレーニングの2トップは、筋
力トレーニングと有酸素運動だ
そうです。実践されている方も
よく聞かれます。

私たちの保育の職場は、どち
らかといえば男性の少ない職場
です。日々、体力が必要です。
トレーニングをすることは、心
のリフレッシュにもなり、次の
日のやる気・活力につながりま
す。私はジムに通っていますが、
健康管理、皆さんはどのように
されていますか。

(編集委員 Y・S)

今

こそ再確認
子どもへの理解を

平成25年度保育部会総会が5月20日、シテイプラザ大阪で開催されました。永野孝男氏（大阪府議会・議員）はじめ、大阪府・堺市・高槻市・東大阪市の各行政からもご臨席いただき、保育園からは275人の出席がありました。

第1部・式典

5年勤続感謝状の贈呈が行われ、河口早紀さん（きらり保育園）が対象者56



熱心に聞き入る参加者

「地域貢献献支援員（スマイルサポーター）」大阪府知事認定証授与式も行われ、新たに322人が地域貢献献支援員として認定。三ツ石浩幸氏（大阪府福祉部子ども室長）から、代表して久野名帆美さん（千塚保育園）に認定証が交付されました。感謝状、認定証を受けられた皆さんには、子育て支援や地域貢献事業のキーパーソンとして、今後より一層のご活躍を期待しています。

第2部・記念講演

阿部和子氏（大妻女子大学家政学部児童学科教授）が「乳幼児期の心身の発達―子どものかかわりの基本についての再確認」のテーマで講演。以下は要旨です。

おおむね6カ月未満

原始歩行や吸綴反射など、生きていくうえで必要な力を持つて生まれてくるこの時期の関わりの基本は、情動の共有。赤ちゃんの欲求を肯定的・共感的に受けとめることで情動が育ち、人の生活に必要な基本的な力がつく。顔だけ笑顔ではなく、心から笑顔でやりとりをする。

おおむね6カ月から

1歳3カ月未満

この時期の子どもは、特定の人群を獲得すること



三ツ石室長(左)から久野さん(右)へ

情緒が安定する。周囲のものと人との関わりが盛んになるこの時期、子どもの探索活動（遊び）を引き出す環境構成をすることが保育の課題。

1・2歳

物とじっくり関わったり、自分のペースで行動する経験が大切。見立て・つもり遊びをたっぷりしながら、子ども同士で関わる経験を。人は一筋縄では大きくなれない。取り合い、トラブルをたくさん経験して、それでも「やっぱりお友だちがいい」と言えることが、豊かな3歳につながる。

幼児期



阿部和子氏

子どもの日常生活の基本は、十分に自己表現ができること。保育者は、その場をおさめるという対応より、子どもが気持ちを調整でき、その場の問題解決に向かえるように努める。「こめんなさいいしなさい」と、ことをおさめることを急がせない。「あやまりなさい」と言わせることを急がない

ことが、相手を許したり許されたりする関係の形成には重要。

* * *

「子ども子育て会議がスタートし、子どもを取り巻く環境が変化する中、保育園の役割はますます拡大しているのに、保育の質が低下、おろそかになってはいないか」「保育所保育指針の重要な部分を今一度押さえつつ、子どもをどのように理解し、関わっていくのか」ということについて再確認する必要がある」など、参加者に問いかけました。

（編集委員M・S）

保育部会新役員名簿

(任期)平成25年度～26年度の2年間

役職名	氏名
会 長	永野 治男（槇塚台保育園）
副 会 長	武内 慎吾（旭ヶ丘学園）
	亀井 信昭（寝屋川めぐみ保育園）
	森田 信司（花園保育園）
	齊藤 和正（坂門ヶ原保育園）
	嶋田 典之（取石南保育園）
	高田テルミ（貝塚南保育園）
幹 事	菊池 繁信（もみの木保育園）
	三角 和義（たんぼぼ保育園）
	三角 智昭（たんぼぼ安威保育園）
	東口 房正（いずみっこ保育園）
	市橋 智昭（一乗寺学園）
	高山 昌弘（春日保育園）
	中島 一（天野山保育園）
	池尾 弘久（くさべ保育園）
	田中 正清（泉佐野すえひろ保育園）
	矢野 宗子（浦堂保育園）
	浅井 孝男（あけぼの保育園）
	水崎 勝（すずらん保育園）
	門谷 明（陽気保育園）
	熊井 茂治（千里山やまて学園）
	宮武 勲（大野台保育園）
会計監査	橋詰 幸雄（善根寺保育園）
	土井 昭（天宗清見台園）
顧問	西浦 正義（ココアンジュ新家）
	中辻 利夫（泉北園）
	高岡 國士（千里丘愛育園）

民営化の引き継ぎ終え 良い環境づくりに取り組む

親と子に園への信頼きずく
 根付く担当保育と運動指導

茨木市

玉櫛たちばな保育園



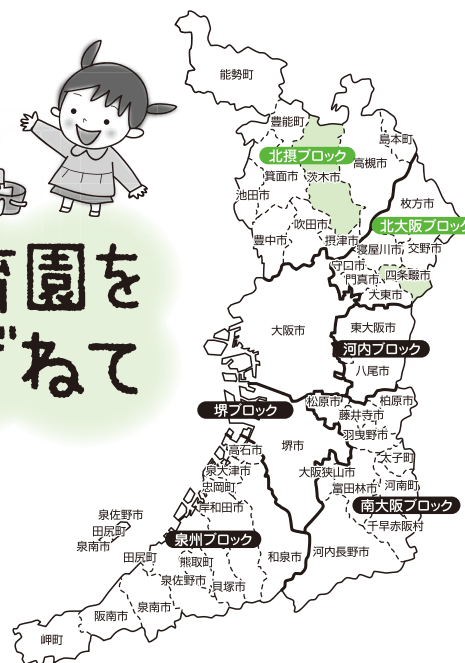
ごっこ遊びの様子

玉 櫛たちはな保育園
 では、子どもたちが
 主体的に遊びを選べる環境
 づくりに力を入れておられ
 ます。全ての年齢で「コー
 ナー保育」を導入されてい
 ます。
 保育室が棚やカフエカー
 テンで仕切られ、子どもが
 集中できる良い環境がつく
 られています。少人数のグ
 ループに分かれて、子ども
 たちは自分で遊びや活動を
 選択することができます。
 ただ好きなことをするだ
 けではなく、テーマをもつ
 た活動を継続することで、
 卓上遊びや制作などに落ち
 着いて取り組む姿が増えて
 きています。
 この5年間で根付いたこ
 れら2つの保育に加え、次
 の取り組みとしてリスクマ
 ネジメントにも力を入れて
 られます。子どもたちの
 活動を見ていて不思議に思
 うことがたくさんありまし
 た。「なぜ転んだ時に頭や顔
 にケガをするのだろう。な
 ぜ咄嗟に手を付くことがで
 きないのだろう。」リスク
 マネジメントの取り組みで
 話し合った結論は、マット、
 跳び箱、鉄棒などの運動指
 導を強化することでした。
 現在は専門の講師による
 運動指導が行われていま
 す。週1回の練習によって、
 やればできるという精神を
 養い、子どもたち一人ひと
 りが、他のことでも自信を
 もって取り組むようになり
 ました。「静」と「動」を大
 切にすることで、日々マネ
 ジメントの結果が見えてき
 ているとのことでした。

(編集委員 T・N)



471



地域のお祭りでだんじり曳き

市
 の西部にある四條
 畷すみれ保育園は
 昭和55年開園、定員は90人
 です。
 「地域と協力して子ども
 の育ちや子育てを支える」
 を基本方針とする「まるい

お屋根の保育園」は今や
 すっかり地域に溶け込んで
 います。地元自治会、老人
 会、高齢者施設が行う夏祭
 り「北出サマーフェスティバ
 ル」も一緒に取り組んでいま
 す。だんじりを曳く園児の
 姿や踊る様子を地域の人た
 ちは楽しみにしています。
 クリスマス会、運動会、
 餅つきなど、地域の人たち
 と園の子どもたちが楽しく
 交流する機会があります。
 また保育方針に「縦割り
 保育を通じ、人との関わり
 を豊かにする」とあり、
 4、5歳児の縦割り保育が
 実施されています。4、5
 歳児混合で、ほとんどの時
 間をクラス単位で活動しま
 す。5歳児が4歳児の世話
 をする、お手本になる。ま
 た4歳児が5歳児のまねを
 する、慕うなど、そうした



まるいお屋根の保育園

地域と協力。子育て支える まるいお屋根の保育園

自然が味わえる実のなる木
 人との関わり豊かな縦割り保育

四條畷市

四條畷すみれ保育園

(編集委員 A・O)

笑顔あふれる保育園 一人ひとりを大切に 体験広げる多彩な保育 地域と繋がる「スワちゃん教室」

八尾市

白鳥保育園



笑顔いっぱい、みんななかよし
わたしたち、ぼくたちの保育園

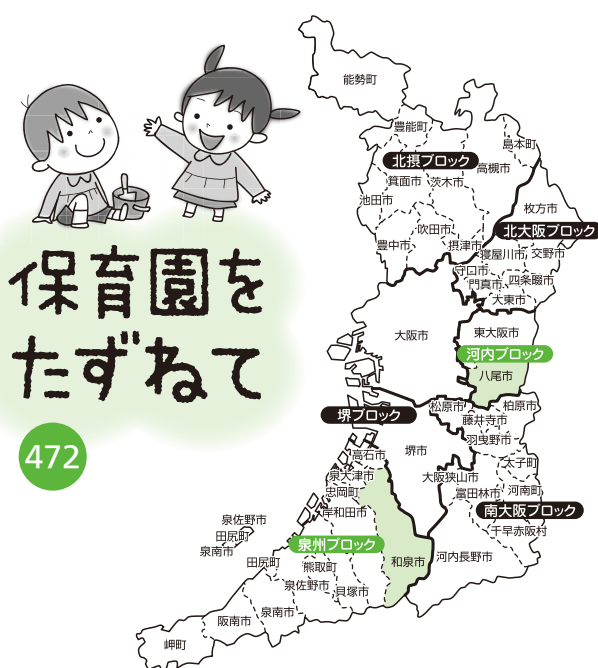


みんなでシュール
ソリスベリってたのしいね

「素直でおもいやりのある豊かな心をもつ子ども」自分で考え自分で行動する子ども」「規律正しい生活習慣や態度を身につけた子ども」に育てることを保育目標に、子どもたちの成長と発達を全職員が見守り支えています。

子どもたち一人ひとりが能力・興味を伸ばせるよう、地域との繋がりを重視する取り組みとして、一時預かり保育、地域交流事業、園庭開放、学童保育、子育て育児相談などに取り組んでいます。園児と地域の子どもたちが交流する「スワちゃん教室」は、毎回抽選するほど人気があります。卒園児対象の学童保育では、大学生による学習指導もあります。職員の皆さんの前向きな取り組みと熱意に感謝を受けました。

（編集委員 C・T）



保育園を
たずねて

472

35 周年を迎えるすいせん保育園は昨年、老朽化と待機児童解消に対応すべく園舎を建て替え、定員を20人増やし140人になりました。

「子ども主体ののびのびした保育」をモットーに、友だちへの思いやりや協調性、子どもたち一人ひとりの積極性や個性を伸ばし、情操豊かな保育をされています。

一年を通して行われている乾布摩擦や素足保育、3歳以上児のぞうり保育など、心身ともに健康で明るく育つよう取り組まれています。

音楽指導の講師を招き、年齢や発達に応じて多彩な楽器を経験し、鼓笛隊や鍵盤楽器・合奏・歌唱などに取り組まれています。

毎月19日を「食育の日」とし、「たべもの教室」を開催しています。子どもたちに旬の食材を見せたり、図を用いて身体の仕組みを説明されています。

給食時には音楽が流れ、ランチルームやテラスでみんなと一緒に食べます。子どもたちが育てた野菜も給食で調理します。毎月の



生活発表会の演奏



さつまいもの苗植え

乾布摩擦・素足・ぞうり…
個性を伸ばすのびのび保育

たべもの教室、かきかた教室…
小学校進学への期待膨らむ

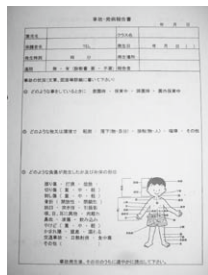
和泉市

すいせん保育園

「クッキング」では4、5歳児がエプロンと三角巾を身に着け、調理員と一緒に交替でおやつ作りにチャレンジしています。

小学校進学に向けて、年長児の「かきかた教室」を毎月1回開催。机と椅子に座り、先生の話を集中して聞く態度が身に付くように取り組まれ、正しい鉛筆の持ち方や姿勢にも配慮されています。子どもたち一人ひとりが自分の名前が書けるよううらがな全部を練習します。小学校進学への期待が膨らむよう1年間をかけて取り組まれています。

（編集委員 K・A）



チェックシート

リスクマネジメントの徹底を図るために、マニュアルの見直しを行っていました。「やった方が良いことは残す」「絶対できないことを外す」「無理なことは削る」を基本に、規定要領の作成を進めています。職員全員で、保育園のあり方そのものから問い直し、保育の安

意識向上 マニュアルづくりで良い保育の

ふじ保育園(八尾市)の取り組み



● 保育園における業務改善 ●

業務のマニュアル化により 理念・目標・保育内容を共有

全性と保育技術の向上について検討を重ねました。「ヒヤリハット・保健ノート」を作成して事故防止チェックリストを見直す前は、単純な怪我や事故が多く、年間の保健ノートは180件以上の怪我が発生しています。中でも病院での診察に2ケタの数字が出ていました。



同法人の職員が集まって検討

まず、子どもの状況を把握し、環境要因による事故の予防を図りました。保育内容も見直し、子どもの怪我に繋がる前の発見を「ヒヤリハット」として保育士一人ひとりが毎月提出し、年2回の会議を持ち、その都度データ化して対応しました。

ヒヤリハット、事故防止・園庭安全点検・環境などの各チェックリスト、事故報告書や苦情解決シートなどを作成して、保育の安全性強化を図りました。職員によるリスクの把握、予防方法、発生時の対応の手順も作成するなど、取り組みは現在も進行中です。ホームページで保護者に公表し、改善と対応をオープンにしました。

その結果、年間の擦り傷などは3分の1に、病院診察も5件以下に減りました。また、現状をオープンにして共有化を図ることで、ベテラン・新任を問わずバラツきのない保育ができるように、保育の記録や内容などをマニュアル化。採用時や新任研修などの際、マニュアルによって、保育の内容や考え方を的確にバラツきなく伝えることができます。現在ではDVDを作成し、文章だけではなく動画マニュアルへと進化しています。

各年齢ごとのDVDマニュアルは、オムツの替え方や子どもへの声のかけ方などが、ワンポイントアドバイスを交えながら学べます。職員研修の教材や日々の保育の環境は、パーテーショ

の保育の見直すテキストとしても活用しています。DVDのメリットは、経験の浅い保育士でも、一日の保育の流れを映像でより正確に確認することができま

動画マニュアルで バラツきのない保育を実施

白鳩保育園(東大阪市)の取り組み

職員が保育を見直し、子どもの視点に立った安全な保育の基本対応を共有し、コミュニケーション力も向上しました。リスクに重点を置き、保育の中で文章化できないものをピックアップして共有できるように整備する重要性を認識できます。保育内容・保健対応・保育室の環境を理念から見直し、より良い保育ができるよう意識向上を図ることは、地域や保護者から求められる保育園づくりにとって重要です。社会福祉のさらなる向上と社会貢献に法人全体で努めることは、私たちの使命であり今後の課題であると感じました。(ふじ保育園H・K)



全職員が使用するマニュアル

ンを活用し、子どもが遊びこめるようコーナー保育を充実。それぞれのグループが一日の生活場面を少しずつ行行動することで、混雑を避けることができま

す。保育士同士の連携も可能なシステムによる安定した保育が提供できます。キャリアに関係なくグループを受け持つことで、一斉保育の時と違った責任感が生まれ、より良い保育につながる意欲的に保育に取り組み、保育士の安定した就業環境となります。園の理念や考え方を明確にし、保育の目標・目的が共有でき、連帯意識が生まれます。「マニュアルは作ることは簡単でも、全職員が間違いなく活用することが大切」と、栗本広美園長は話されていました。

北摂

認定子ども園は
羅針盤になり得るか

―保育部会総会・研修会

5月9日、千里阪急ホテルで開催された総会で、平成24年度事業報告・決算報告、平成25年度事業計画・予算案を満場一致で承認。研修会では、高橋英治氏（広島県富士保育園園長）が「認



高橋英治氏

定子ども園は羅針盤になり得るか」と題して講演。年金・医療・福祉の「福祉」が「介護」に、さらに「介護・子ども」へと社会福祉基礎構造改革において変化してきた経緯を説明。子どもの

分野が社会保障の中に組み入れられたことを認識する重要性を指摘しました。幼保連携型認定子ども園が「子ども・子育て関連3法」で単一の施設として認可・指導監督等を一本化。学校及び児童福祉施設として法的に位置づけられたこと、認定子ども園・幼稚園・保育所共通の「施設型給付」となることを説明し、「自ら船を作り、自ら捕る魚を考え、自ら魚場を想定し、そこに羅針盤を動かす」と述べて、今後の社会福祉法人



総会の様子

のあり方に言及しました。子育てをめぐる課題について大阪府から「質の高い幼児期の学校教育・保育を

総合的に提供」「地域子育ての一層の充実」「待機児童解消のための受入れ数増」などが、高槻市から「あらゆる世代の住みやすさナンバーワンを目指す施策」「保育所待機児童解消に向けた保育園開設と定員増の経緯」が、豊中市から「子ども健やか育み条例の詳細と子ども審議会」などが説明されました。

（編集委員 M・K）

南大阪

子育ての基本

―親の関わり方

―民間保育園連盟総会

5月10日、スイスホテル南海大阪で開催された総会で杉本哲也氏（一般財団法人



熱心な受講者

人親学推進協会）が講演。●人間の子どもは動物と違い未成熟な状態で生まれる。

●生まれたての子どもには親との愛着形成がしっかりと築かれねばならない。

●愛着形成がしっかりと行われると、6カ月から人見知り、6歳頃から第2次反抗期。人間として、大人として認めて欲しいという自立心の芽生え。

●成長を支えるには、母性の愛着と優しさ、父性の厳しさと社会的規範が必要。そのバランスが崩れると、母性が強いと子どもは引きこもり、父性が強いと子どもは非行になる傾向がある。

「しっかりと抱いて、下に降ろして歩かせることが大切」と語る杉本氏の講演は、子育ての基本や親の関わり方、日々の保育を見直す良い機会となりました。

（編集委員 N・M）

旬

カトレア。私の花育てで重要な位置づけ
ようやく、やっと「保育三団体協議会」

最適な6月の気候のなか、芽がどんどん大きくなるカトレアたち。毎朝6時前、放つて置く。と真横に伸びたりすることもあつたため、芽が上に伸びるように竹ベラで塞いで形を作る。10cmほどに伸びると支柱を立ててビニタイで結わえ、伸

す！彼女はプロのライセンスを持ち、卒園式などの式花・園児のコサージュ。他に小作りのアレンジも。職員向けに、季節ごとのフラワーアレンジメント講習会。先月も温室で咲いていたカトレアが各種の青物に盛ら

と同量の白砂糖に塩少々が塩梅。こつとりとした旨い甘さの餡に仕上げる。小学生の夏、小豆を炊いて片栗粉を混ぜ、折った割り箸を製氷器に差してアイスキャンデーを作った。この餡

等を発信することで、より良い保育制度を実現することをめざすのが目的。この期に及んでやっと！まあ大変前向きなこと、私も大いに喜んでい

と一緒を組んでいることが摩訶不思議。研修中心で運営するならアウトソーシングも視野に入

れ、多彩な装いのカワイイ花籠。職員たちのニコニコ顔に、花たちも喜んでいてくれる。私は毎日、お酒を欠かさないが、甘いモノもまた大好き。園のおやつは私が炊く。小豆

季が入っている。さて本業の話。保育三団体がこの3月、「保育三団体協議会」をようやく設置。三団体が一致団結して、国の『子ども・子育て会議』や社会に向けて意見

だ状況が見えにくいから、先輩方もその枠組みの中で努力された。保育三法が動き出せば、組織の再編も視野に入れながらの運営を迫られることでしょう。

（H・N）